

降雨採取装置の設置



写真 1

10月13日国道交通省東北地方整備局摺上川ダム工事事務所のご支援により、摺上川ダム管理事務所がある気象観測用露場に降雨採取器（写真1）を設置し、約1ヵ月毎の雨を一括採取し、雨水による各種イオン負荷量の測定を開始した。設置した降雨採取器は直径20cm、高さ2mの透明アクリル版で東栄科学株式会社に依頼して作成した特注品で、上部から20cmのところを東洋ろ紙（240mm）をセットし、おおまかなゴミ

がフィルターされるように設計してある。冬季は、このろ紙を外し、そのまま雪を採取できるようになっている。

また、白河地方水道用水供給企業団のご支援により、この降雨採取器とあわせて、雨量強度計を1989年8月末に5日間で1256mmの降水量が記録された西郷村真舟の企業団屋上（写真2）に設置して、降水強度と各種イオン負荷量の調査を開始した。

今後1月ごとの雨水を採取し、大学屋上の観測と



写真 2

あわせて、流域による負荷量等の差異を明らかにする予定である。